

山武っ子通信



山武市青少年育成市民会議



山武市青少年育成市民会議とは？

山武市の青少年が健やかに成長できるよう、青少年育成に関わる14の市民団体、小・中学校及び高等学校のPTAの方々、活動に賛同してくれる個人が連携・協力して青少年育成活動を推進している組織です。

今年度は、教育委員会や学校で行っているコロナ対策や子どもたちの状況等をお聞きし、意見交換を行った“ディスカッション”と、東日本大震災で被害を受けた海岸保安林の復興を目的に行ってきた植樹の“手入れ作業”を行いましたので、その2つの活動を紹介します。

教育部長にお聞きしました！

コロナ禍における教育委員会・学校の対応について



戸村会長



ディスカッションの様子



小川教育部長

よろしく
お願いします。



【令和2年10月20日(火) 開催】

例年、青少年育成に関する定例会をメンバー全体で行っていましたが、新型コロナウイルスの影響により一堂に会しての会議開催が困難となりました。そこで、今回は「少人数」「新型コロナウイルス関連」をキーワードに縮小した体制での会議を検討した結果、山武市教育委員会教育部長をお招きして、コロナ禍における教育委員会や学校の対応についてのお話しをしていただき、当会議の役員とディスカッションを行いました。

子どもたちは様々な制限の中で学校生活を送っていること、新型コロナウイルスが収束したとしても子どもたちにどのような影響が出てくるのか、子どもたちの変化、体力・学力・行動に目を向け対応しなければならないことなどを話し合いました。当会議のメンバーには、ディスカッションの内容をまとめたものを送付しました。コロナ禍における子どもたちの現状を知り、当会議として何が出来るのかを考える機会となりました。



植樹後のお手入れ

山武市青少年育成市民会議が主催した「震災復興植樹祭 INさんむ」にて参加者のみなさんに植えていただいた苗木(クロマツ)の手入れを行いました。

▲手入れ作業概要▲

日時：令和2年10月31日(土)、11月14日(土)の午前中

場所：蓮沼中下海岸の防災林(平成29年度・平成30年度・令和元年度の植樹場所)

内容：「下草刈り」…苗木が雑草に負けて日光を十分に浴びることができなかったり、水分を奪われたりするのを防ぐために行いました。

「静砂垣の修復」…植えた苗木を風や砂から守るために作られた垣根の倒壊部分を修復しました。



ハンマーナイフで雑草刈り

▲作業風景▲

「下草刈り」

○平成29年度の植樹場所は、雑草に負けないくらい大きく育っています。



作業をしている様子



作業終了

○平成30年度と令和元年度の植樹場所は、まだまだ手助けが必要です。



作業前(平成30年度の植樹場所)



作業をしている様子(平成30年度の植樹場所)



作業前(令和元年度の植樹場所)



作業をしている様子(令和元年度の植樹場所)

「静砂垣の修復」

令和元年の台風によって垣根が壊れたため、令和元年11月に修復作業を行いました。その後の強風により再度倒れてしまいましたので、今回はしっかりと補強を行いました。



作業前(垣根が倒れています)



補強している様子



作業終了

お知らせ

▲植樹場所に卵を発見▲

植樹後の苗木の様子、雑草の状況確認(令和2年6月頃)を行った時に発見しました。卵の模様からコアジサシのタマゴではないかと思われる。

みなさんが植えた植樹場所が繁殖地になっていましたよ!



お手入れお疲れさまでした